

<地域ネットワーク部会：今年度事業計画解説および進捗状況について>**1. 乳がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価**

- 1-1 乳がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
- 1-2 乳がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
- 1-3 評価を行う。

2. 胃がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価

- 1-1 胃がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
- 1-2 胃がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
- 1-3 評価を行う。

3. 肺がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価

- 1-1 肺がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
- 1-2 肺がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
- 1-3 評価を行う。

4. 肝がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価

- 1-1 肝がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
- 1-2 肝がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
- 1-3 評価を行う。

5. 大腸がん地域連携クリティカルパスの運用・改訂・評価

- 1-1 大腸がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。
- 1-2 大腸がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。
- 1-3 評価を行う。

1～5：

- 平成22年4月1日、県内一斉に地域連携クリティカルパスの運用を開始した。
那覇市立病院で地域連携クリティカルパスの適用を行った。また、その他の各病院施設においても院内体制を構築中。

6. 5大がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

各地区や希望される医療機関で、年に10回を目標に5大がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

- 10月12日に沖縄県医師会館にて「平成22年度第1回5大がん地域連携クリティカルパス研修会」を行った。
10月27日には北部地区医師会病院が院内研修会を開催する予定。
また、各地区での研修会の他に各医療機関で、院内研修会を行うことが決定した。

7. 沖縄県がん診療連携協議会のホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載し、共有する。また、沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。

- 沖縄県がん診療連携協議会のHP (<http://www.okican.jp/>) に5大がん地域連携パスを掲載した。その他にパス事業への申込書、同意書のひな形、パス事業への参加医療機関一覧を公開した。10月12日現在、沖縄県5大がん地域連携パス（雛形）の全県に渡る普及を図るため、専門施設14施設、かかりつけ施設44施設がこの取組みにご協力いただける医療機関として申込まれている。（資料2）

沖縄県医師会のHPに沖縄県5大がん地域連携クリティカルパス協力医療機関の募集・応募方法と申込用紙を掲載している。

8. がん地域連携クリティカルパス事業に参加する医療機関を対象に、かかりつけ施設が受け入れ可能な範囲を把握するためにアンケート調査を行う。

- 協議未実施。

9. 5大がん以外のがんについての地域連携クリティカルパスを作成する。

- 前立腺がんの地域連携クリティカルパスを作成する予定。新たにワーキンググループを設置し、完成したら、運用ワーキンググループに出して意見を伺うこととした。

10. 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。

- 第12回日本医療マネジメント学会学術集会（発表）

日程：平成22年6月11日（木）～12日（金） 場所：札幌コンベンションセンター

発表者：仲本 奈々

○演題「沖縄県における全県統一5大がん地域連携クリティカルパスの取り組み」

第11回日本クリニカルパス学会学術集会（発表予定）

日程：平成22年12月3日（金）～4日（土） 場所：愛媛ひめぎんホール

発表者：仲本 奈々

○演題「沖縄県における全県統一5大がん地域連携クリティカルパスの取り組み」

第111回沖縄県医師会医学会総会

日程：平成22年12月12日（日） 場所：沖縄県医師会館

発表者：宮里 浩

○演題「がん診療における病診・病院連携について

～沖縄県がん診療連携クリニカルパス運用開始後の動きを踏まえて～

第2回沖縄県医師会県民健康フォーラム

日程：平成23年2月5日（土） or 12日（土） 場所：パシフィックホテル沖縄

発表者：宮里 浩

○演題「地域医療連携について」

沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会
5 大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキンググループ構成員名簿

区 分	氏 名	所 属
琉大病院	下地 英明	第一外科
	白石 祐之	第一外科
	照屋 孝夫	第二外科
	佐村 博範	第一外科
	國仲 弘一	第一外科
	新垣 久美子	地域医療部
	武富 孝子	医療支援課
	増田 昌人	がんセンター
	仲本 奈々	がんセンター
北部地区医師会病院	照屋 淳	外科
	仲村 実和子	連携室
沖縄県立中部病院	上田 真	外科
	嵩下 英次郎	外科
	新崎 博美	地域医療連携室
那覇市立病院	宮里 浩	外科
	友利 寛文	外科
	比嘉 宇郎	外科
	宮国 孝男	外科
	外間 尚美	地域医療連携室
中央保健所	国吉 秀樹	健康推進班長
ハートライフ病院	佐久川 廣	内科
浦添総合病院	蔵下 要	外科
沖縄病院	川畑 勉	外科
豊見城中央病院	大田 守仁	外科
那覇西クリニック	長嶺 信治	外科
各地区医師会	上地 博之 (大北内科胃腸科クリニック)	北部地区医師会
	仲田 清剛 (ちばなクリニック)	中部地区医師会
	平良 豊 (牧港クリニック)	浦添市医師会
	喜納 美津男 (きなクリニック)	那覇市医師会
	城間 寛 (豊見城中央病院)	南部地区医師会
	打出 啓二 (下地診療所)	宮古地区医師会
	新村 政昇 (にいむら内科胃腸科クリニック)	八重山地区医師会

5 大がん地域連携クリティカルパス事業の申込状況について

沖縄県 5 大がん地域連携パス（雛形）の全県に渡る普及を図るため、この取組みにご賛同、ご協力いただける医療機関としてご返信いただいた医療機関をホームページに掲載しています。

< 専門施設側 協力医療機関一覧 >

		施設名	住所	肺	胃	肝	大腸	乳
北	1	北部地区医師会病院	名護市宇茂佐 1712-3	○	○		○	○
	2	沖縄県立中部病院	うるま市宮里 281	○	○	○	○	○
中	3	沖縄病院	宜野湾市我如古 3-20-14	○	○	○	○	○
	4	中頭病院	沖縄市知花 6-25-5	○	○	○	○	○
	5	琉球大学医学部附属病院	中頭郡西原町字上原 207	○	○	○	○	○
	6	八重瀬会 同仁病院	浦添市城間 1-37-12		○		○	○
	7	浦添総合病院	浦添市伊祖 4-16-1				○	○
	8	ハートライフ病院	中頭郡中城村字伊集 208		○	○	○	○
南	9	南部徳洲会病院	島尻郡八重瀬町字外間 171-1	○	○	○	○	○
	10	友愛会 豊見城中央病院	豊見城市字上田 25 番地	○	○	○	○	○
	11	沖縄赤十字病院	那覇市古波蔵 4-11-1	○	○	○	○	○
	12	那覇西クリニック	那覇市赤嶺 2-1-9					○
	13	那覇市立病院	那覇市古島 2-31-1	○	○	○	○	○
	14	和の会 与那原中央病院	島尻郡与那原町字与那原 2905	○	○	○	○	○

< かかりつけ医側 協力医療機関一覧 >

		施設名	住所	肺	胃	肝	大腸	乳
石	1	宮良内科胃腸科医院	石垣市字新川 27		○		○	
	2	博愛医院	石垣市字大川 179-1	○	○	○	○	○
宮	3	下地診療所	宮古島市下地字上地 634-1		○		○	
	4	宮古島徳州会病院	宮古島市平良字松原 552-1	○	○	○	○	○
	5	平良胃腸科・内科	宮古島市平良下里 5		○	○	○	
北	6	やまだクリニック	国頭郡本部町字大浜 874-15	○	○	○	○	○
	7	今帰仁診療所	今帰仁村字謝名 139 番地	○	○	○	○	○
	8	北部地区医師会病院	名護市宇茂佐 1712-3	○	○		○	○
	9	もとぶ野毛病院	国頭郡本部町大浜 880-1					○
中	10	大北内科胃腸科クリニック	名護市大北 3-1-48		○		○	
	11	まちなと内科クリニック	浦添市牧港 2-46-8	○				
	12	まつしまクリニック	中頭郡読谷村字瀬名波 894-2		○		○	
	13	おやかかわクリニック	宜野湾市長田 1-29-1	○	○	○	○	
	14	丸勝中央クリニック	浦添市大平 1-28-1	○	○	○	○	○

	15	玉城ファミリークリニック	中頭郡読谷村字都屋 245	○	○	○	○	○
	16	クリニック宜野湾	宜野湾市大山 7-7-22	○	○	○	○	○
	17	しみず内科胃腸科 21	浦添市伊祖 2-2-5		○	○	○	
	18	Do.久高のマンマ家クリニック	浦添市経塚 633					○
	19	仲宗根クリニック	沖縄市高原 7-23-14		○		○	
	20	海邦病院	宜野湾市字真志喜 2-23-5		○		○	
	21	ちばなクリニック	沖縄市知花 6-25-15	○	○	○	○	○
	22	同仁病院	浦添市城間 1-37-12		○		○	○
	23	池原外科胃腸科医院	宜野湾市新城 2-40-27	○	○	○	○	○
	24	愛聖クリニック	沖縄市高原 5-15-11	○	○	○	○	○
	25	名嘉村クリニック	浦添市伊祖4-2-1	○				
	26	沖縄県立中部病院	うるま市宮里 281	○	○	○	○	○
	27	琉球大学医学部附属病院	中頭郡西原町字上原 207	○	○	○	○	○
南	28	山城消化器内科医院	那覇市樋川1-18-22		○	○		
	29	又吉内科クリニック	那覇市安里 2 丁目 9-8		○	○	○	
	30	曙クリニック	那覇市曙 3-20-14		○	○	○	○
	31	きなクリニック	那覇市首里儀保町 1-26-3	○	○	○	○	○
	32	空と海クリニック	豊見城市宜保 370	○	○	○	○	
	33	のはら元気クリニック	那覇市銘苅 3-21-21	○	○	○	○	○
	34	もりクリニック	豊見城市宜保 293-1	○	○	○	○	○
	35	なかそね 和 内科	那覇市松川 47			○		
	36	豆の木クリニック	糸満市字潮平 764-1	○	○	○	○	
	37	小禄病院	那覇市小禄 547-1	○	○	○	○	
	38	友寄クリニック	那覇市泉崎 2 丁目 2 の 6		○	○	○	
	39	みやぎ内科	豊見城市翁長 869	○	○	○	○	
	40	前田胃腸科医院	那覇市三原 2-15-12		○	○	○	
	41	与那原中央病院	島尻郡与那原町字与那原 2905	○	○	○	○	○
	42	高里内科胃腸科	那覇市寄宮 1-9-24	○	○	○	○	
	43	那覇市立病院	那覇市古島 2-31-1	○	○	○	○	○
	44	南城つはこクリニック	南城市佐敷津波古 433	○	○		○	○

平成22年10月12日現在

平成22年度事業の行動計画

no.	事業名	事業内容	担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	【全体イベント】			5/17 幹事会	6/11 ゆんたく会 協議会 講演会 6/12	6/16 幹事会	9/3 ゆんたく会 協議会 講演会 9/4	10/25 幹事会	11/19 ゆんたく会 協議会 講演会 11/20	1/17 幹事会	2/4 ゆんたく会 協議会 講演会 2/5					
	【部会イベント】			5/12 部会	6/2 ゆんたく会 協議会 講演会 6/12	8/4 部会	9/1 部会	10/6 部会	11/3 部会	12/1 部会	2/2 部会					
1	乳がん地域連携クリティカルパスの作成	乳がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。乳がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。評価を行う。	宮国(グループ長)	4/14部会	5/12 部会	6/2 部会 運用ワーキング	7/7 部会	8/4 部会	9/1 部会	10/6 部会	11/3 部会	12/1 部会	1/12 部会	2/2 部会	3/2 部会	
2	胃がん地域連携クリティカルパスの作成	胃がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。胃がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。評価を行う。	下地(グループ長)													
3	肺がん地域連携クリティカルパスの作成	肺がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。肺がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。評価を行う。	照屋(グループ長)													
4	肝がん地域連携クリティカルパスの作成	肝がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。肝がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。評価を行う。	白石(グループ長)													
5	大腸がん地域連携クリティカルパスの作成	大腸がん地域連携クリティカルパスの運用を開始する。大腸がん地域連携クリティカルパスの改訂を行う。評価を行う。	佐村(グループ長)													
6	5大がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。	各地区や希望される医療機関で、年に10回を目標に5大がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。	佐村													
7	ホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載し、共有する。	沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。	国吉													
8	アンケート調査を行う。	がん地域連携クリティカルパス事業に参加する医療機関を対象に、かかりつけ施設が受け入れ可能な範囲の調査を行う。	高下													
9	5大がん以外のがんについての地域連携クリティカルパスを作成する。		宮里													
10	情報収集、学会報告を行う。	学会および厚生労働省の研修班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。	増田													

平成 22 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日時：平成 22 年 8 月 18 日（水） 18:00～19:45

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：8 名

出席者：5 名

宮里 浩（那覇市立病院）、佐村 博範（琉大病院）、国吉 秀樹（中央保健所）

増田 昌人（琉大病院）仲本 奈々（琉大病院）

陪席者：呉屋 葉子（琉大病院がんセンター）

[報告事項]

1. 平成 22 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨（資料 1）

➤平成 22 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨が承認された。

2. 5 大がん地域連携パス事業の申し込み状況について（資料 2）

➤2010 年 8 月 18 日現在で、専門施設が 13 施設、かかりつけ施設が 42 施設と報告があった。

[協議事項]

1. 平成 22 年度地域ネットワーク部会事業計画について（資料 3）

(1) 沖縄県がん診療連携協議会のホームページにがん地域連携クリティカルパスの一覧を掲載し共有する。

また、沖縄県がん地域連携クリティカルパス事業への参加医療機関の一覧やワーキンググループの活動報告などを公開する。

➤参加医療機関の一覧はすでに掲載しており、ワーキンググループの活動報告については、毎回の議事要旨を掲載することに決定した。

(2) 5 大がん以外のがんについての地域連携クリティカルパスを作成する。

➤前立腺がんの地域連携パスの作成を進めていくことが承認された。

(3) 学会および厚生労働省の研究班に積極的に参加し、情報収集を行うとともに、地域連携クリティカルパスについて学会等で報告する。

➤第 11 回日本クリニカルパス学会学術集会、沖縄県公衆衛生学会、沖縄県医学会で報告することが決定した。

2. 5 大がん地域連携クリティカルパス研修会について（資料 4）

(1) 5 大がん地域連携クリティカルパスを運用するためには専門施設で開始する必要があるため 10 回の研修会の内 4 回は各施設（琉大、那覇市立、中部病院、医師会病院）で院内研修を行ってはどうか？

➤日程などの調整は必要だが、4 回は各施設（琉大、那覇市立、中部病院、医師会病院）で院内研修を行うことが承認された。

(2) それ以降の研修会については各専門施設で行ってはどうか？

➤次回の 5 大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキングの議題にすることが承認された。

3. 送り出し患者を増加させる方法について（資料 5）

広報として、8 月 18 日に協力医療機関の募集と研究会について沖縄県医師会のホームページに載せたことが報告された。パスの適用患者を増加させるため、欠席者に確認して平成 22 年 10 月 31 日までに各施設 10 名に連携パスを適用することを目標とすることが承認された。また、各担当医が個別にアプローチして連携している施設に案内したり、連携室と連携して各施設から広報する（広報誌に載せるなど）ことが検討された。その他についてはワーキンググループで意見を頂くことが承認された。

4. 平成 22 年度第 2 回 5 大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキンググループ（議題調整用）（資料 6）

・本日の部会で承認されたことの報告。

・研修会の事について、地区医師会の先生方から要望を求める。

・次回の開催については、平成 22 年 12 月 1 日（水）平成 22 年度第 2 回 5 大がん地域連携クリティカルパス運用ワーキングを行うことが承認された。

平成22年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会
5大がんクリティカルパス運用ワーキンググループ議事要旨

日時：平成22年9月1日(水) 19:00~20:00

場所：琉球大学医学部附属病院 管理棟 大会議室

構成員：32名

出席者：19名

照屋 孝夫(琉大病院)、佐村 博範(琉大病院)、國仲 弘一(琉大病院)、新垣 久美子(琉大病院)、武富 孝子(琉大病院)、増田 昌人(琉大病院)、仲本 奈々(琉大病院)、照屋 淳(医師会病院)、仲村 実和子(医師会病院)、新崎 博美(中部病院)、宮里 浩(市立病院)、友利 寛文(市立病院)、比嘉 宇郎(市立病院)、外間 尚美(市立病院)、蔵下 要(浦添総合病院)、上地 博之(北部地区医師会)、仲田 清剛(中部地区医師会)、平良 豊(浦添市医師会)、喜納 美津男(那覇市医師会)

欠席者：13名

下地 英明(琉大病院)、白石 祐之(琉大病院)、上田 真(中部病院)、嵩下 英次郎(中部病院) 宮国 孝男(市立病院)、国吉 秀樹(中央保健所)、佐久川 廣(ハートライフ)、川畑 勉(沖縄病院)、大田 守仁(豊見城中央病院)、長嶺 信治(那覇西クリニック)、城間 寛(南部地区医師会)、打出 啓二(宮古地区医師会)、新村 政昇(八重山地区医師会)

[報告事項]

1. 平成22年度第1回5大がんクリティカルパス運用ワーキンググループ議事要旨(資料1)
平成22年度第1回5大がんクリティカルパス運用ワーキンググループ議事要旨が承認された。
2. 5大がん地域連携クリティカルパス事業の申し込み状況について(資料2)
2010年8月30日現在で、専門施設が14施設、かかりつけ施設が42施設と報告があった。
3. 那覇市立病院での地域連携パスの適用事例
宮里委員、外間委員より那覇市立病院で5大がん地域連携パスの運用を開始したとの報告があった。

[議題事項]

1. 5大がん地域連携クリティカルパス運用の問題点
医師が患者へ5大がん地域連携パスについて説明するのに1時間程度かかる。各専門施設の連携室の協力が不可欠との意見があった。
2. 5大がん地域連携クリティカルパス運用の手引きの確認と改訂(資料3)
5大がん地域連携パスの運用数が増加した時に、問題点を集約し、必要に応じて改訂していくことが承認された。
3. 5大がん地域連携パス研修会の開催方法について(資料4)
5大がん地域連携パスを運用するために、専門施設で開始する必要があるため10回の研修会の内、4回は各専門施設(琉大病院、那覇市立病院、中部病院、北部地区医師会病院、浦添総合病院)で院内研修会を企画開催することが承認された。広報や場所の提供などは各地区医師会とも協力して進めることが承認された。また、必要に応じて部会委員が専門施設に出向き、院内研修会をサポートすることも可能との報告があった。
4. 送り出し患者を増加させる方法について(資料5)
内科での適用症例があるのではないかと意見があり、初めは外科である程度運用数をこなして広げて行き、その後に内科も運用して行く予定と報告があった。
病院の中でパスが浸透していない状況で、院外には話しづらい。連携室のスタッフ、看護師、実際運用する人たちも、交えて話し合いをすれば、もっと浸透するのではないかと。また、南部医療圏で地域

連携室のメンバーで集まって情報を交換行っているのので、そういった場を利用して、広めて行くのはどうかと意見があった。専門施設が受け身ではなく能動的に行う必要があるとの意見があり、専門施設から連携施設へ参加の呼び掛けを行っていくことが承認された。

5. 5大がん以外の地域連携パスの作成（前立腺がん）について（資料6）

ワーキンググループを新たに作ることが承認された。人選は、沖縄県医療機能調査の結果から手術症例の多い施設の医師を推薦して頂き、パスの様式は5大がんと同様の様式に統一することが承認された。完成したら運用ワーキンググループにて意見を伺うことが承認された。

6. 次回開催日程について

日時：平成22年12月1日（水）19:00～20:00

場所：琉球大学医学部附属病院 管理棟3階 大会議室

7. その他

専門施設側もかかりつけ施設側になる場合がある。現在、専門施設がかかりつけ施設側に登録している施設が4件しかいないため、参加登録を進めていってはどうかとの意見があった。

県立病院にも参加して頂くように事務局側から働きかける必要があるとの意見があった。特に、宮古病院や八重山病院は受け入れ側になって頂くよう進めていくとの報告があった。